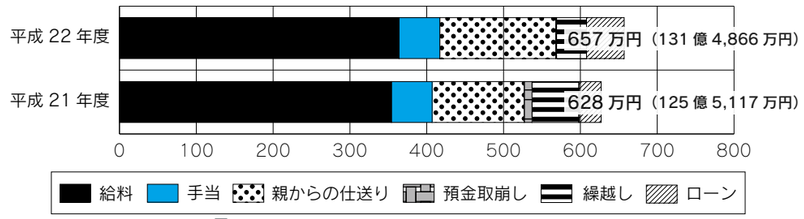
決算概要

※決算状況をより分かりやすくお知らせするため、家計に例えて表しています（2000分の1）。

収入

※（ ）内は実額

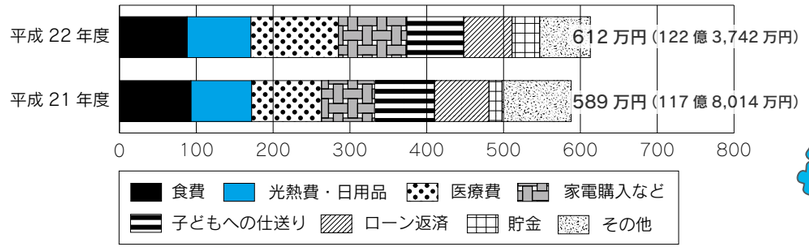


給料…地方税、地方交付税
手当…分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、諸収入
親からの仕送り…地方譲与税、各種交付金、国・県支出金
預金取崩し…繰入金　繰越し…繰越金　ローン…地方債

平成22年度の収入の特徴は、前年度より親からの仕送りとローンが増えたことです。これは小学校や体育館の耐震補強などに伴う国庫支出金と市債の発行の増加によるものです。

支出

※（ ）内は実額



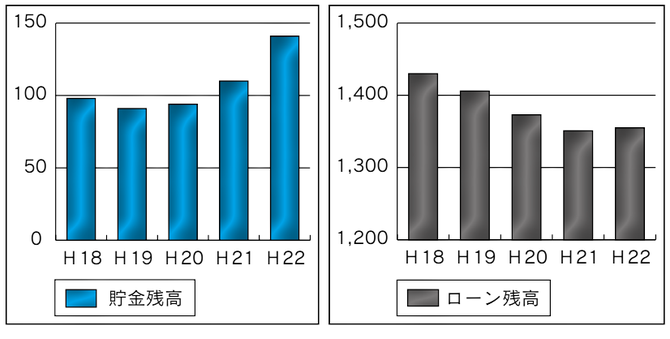
食費…人件費　光熱費・日用品…物件費
医療費…扶助費
家電購入など…普通建設事業費、維持補修費
子どもへの仕送り…繰出金　ローン返済…公債費
貯金…積立金　その他…補助費等、貸付金

平成22年度の支出の特徴は、医療費・家電購入など・貯金が増えたことです。それぞれの要因としては、子ども手当が創設されたこと、小学校や体育館の耐震補強などを実施したこと、また、将来に向けて積み立てが多くできたことがあげられます。

平成22年度の決算では、46万円（9億1,124万円）の黒字となりました。そこから、平成23年度へ繰越した事業に必要な金額を除いた実際の繰越額は39万円（7億8,097万円）となりました。

●基金、市債残高の推移

（単位：万円）



基金（貯金）…財政調整基金、減債基金、その他特定目的基金の合計
市債（ローン）…一般会計、特別会計、公営企業会計の合計

基金残高は145万円(28億9,518万円)と増加した一方、市債残高も下水道の整備などにより1,355万円（271億518万円）とわずかながら増加しました。

今後は公共施設の耐震化や都市環境の整備などのため、貯金の取崩しやローンの借入れが増加するなど厳しい財政状況が続くと予測され、より一層健全な財政運営を行っていく必要があります。

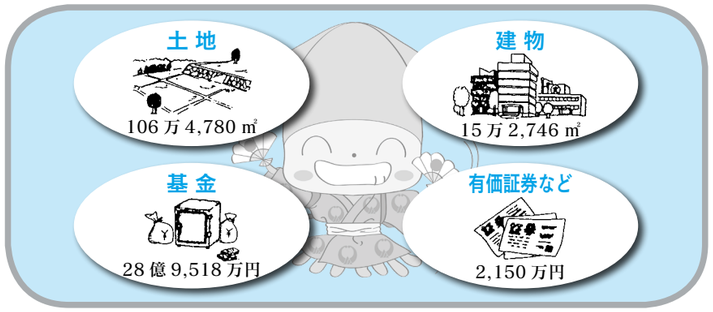
●特別会計・公営企業会計（水道事業）決算

（単位：万円）

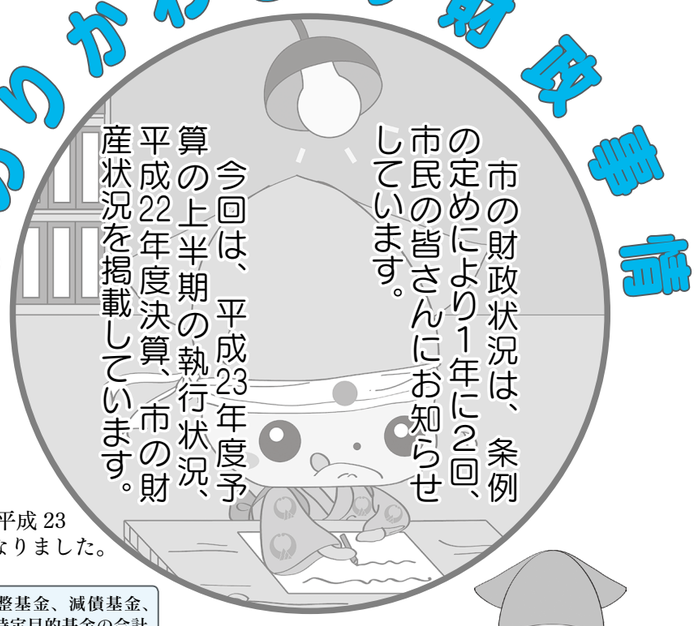
会計名	歳入	歳出	差引	会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	28億3,196	27億7,342	5,854	下水道事業	22億2,265	22億2,265	0
後期高齢者医療事業	6億　132	6億　118	14	農業集落排水事業	1億4,580	1億4,580	0
介護保険事業	24億8,227	24億7,634	593	工業団地造成事業	883	883	0
老人保健医療事業	27	27	0	水道事業	6億8,169	8億4,176	△1億6,007

市有財産状況

（平成23年9月末現在）



なめりかわしの財政事情



問合せ先
財政課（内線261）

予算執行状況

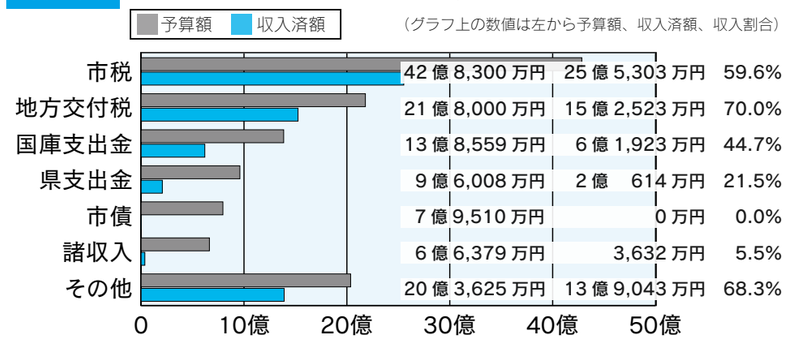
（平成23年9月末現在）

●一般会計予算執行状況（予算額123億381万円）

※平成22年度からの繰越し分を含む

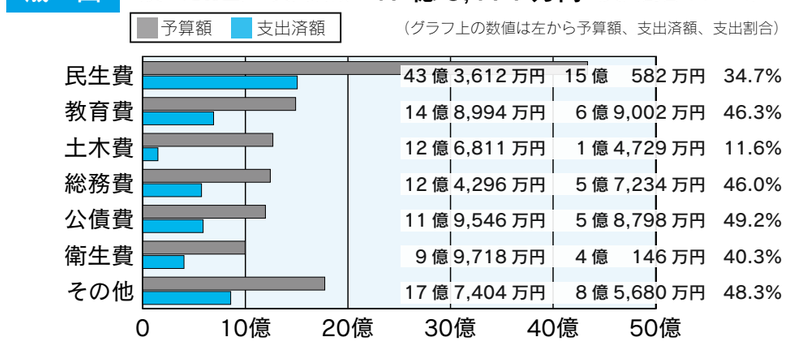
歳入

（入ったお金）　収入済額　**63億3,038万円**（収入割合51.5%）



歳出

（使ったお金）　支出済額　**47億6,171万円**（支出割合38.7%）



●特別会計予算執行状況

（金額単位：万円）

会計名		予算額	歳入 収入済額	歳入 収入割合	歳出 支出済額	歳出 支出割合
国民健康保険事業		30億2,049	11億　576	36.6%	12億8,003	42.4%
後期高齢者医療事業		6億1,787	1億　23	16.2%	2億　797	33.7%
介護保険事業	保険事業	26億7,039	11億4,143	42.7%	10億6,822	40.0%
	サービス事業	1,728	654	37.8%	644	37.3%
下水道事業		24億5,792	2億6,637	10.8%	7億3,586	29.9%
農業集落排水事業		1億4,133	1,963	13.9%	6,490	45.9%
工業団地造成事業		877	27	3.1%	439	50.1%

●公営企業会計予算執行状況

（金額単位：万円）

水道事業	歳入 予算額	歳入 収入済額	歳入 収入割合	歳出 予算額	歳出 支出済額	歳出 支出割合
収益的収支	4億3,769	2億2,141	50.6%	4億2,289	9,507	22.5%
資本的収支	1億2,300	0	0.0%	3億2,488	1億　660	32.8%

用語解説

市　税…市民の皆さんが納めた税金で、市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税を総称したものです。
地方交付税…全国の市町村が等しく事務を行えるよう、一定の基準により国から交付されるお金です。
国・県支出金…いろいろな事業に対する国・県からの補助金、委託金です。
諸収入…貸付金元利収入や、市が受託した事業の収入です。
民生費…高齢者・障がい者・児童の福祉や生活保護に使われます。
教育費…小中学校・公民館の運営や、文化・スポーツの振興に使われます。
土木費…道路・公園・市営住宅などの建設や管理に使われます。
総務費…市の全般的な管理、企画や選挙、戸籍、住民票事務などに使われます。
公債費…借り入れた市債の元金・利子などの償還金に使われます。
衛生費…ごみ処理や環境保全、市民の健康に使われます。
一般会計…市税収入を主な財源として、福祉、保健衛生、土木、教育、消防など市の仕事の大部分をまかなう会計です。
特別会計…特定の事業を行う場合や特定の収入で特定の支出に充てる場合、一般会計とは別にその経理を明らかにするために設けられた会計で、滑川市には国民健康保険事業や介護保険事業など、6つの特別会計があります。
公営企業会計…民間企業と同じように、事業によって得た収入で支出をまかなうという、いわゆる独立採算を原則とする事業について設けられた会計で、滑川市では水道事業会計が該当します。